



学校教育目標

自ら学び ともに伸びる

育成を目指す
資質・能力

自主性・主体性 思考力・表現力 自己調整力 自己有用感 協働性

児童・教職員・保護者・地域の Well-being を実現する学校

～児童が「行きたい」、教職員が「働きたい」、保護者・地域が「通わせたい」と思える学校～

めざす
学校の姿

自立

挑戦

協働

- 自分の良さを知っている。
- 自ら進んで学び、振り返りを次の学びに生かす。
- 自分なりの方法で、学びの成果を表現する。

- 目標を持ち、積極的に挑戦する。
- 簡単にあきらめない。粘り強く取り組む。
- 学校・地域に貢献しようとする。

- 感謝の気持ちを持ち続けている。
- 友達を大切にし、協力する。
- 他者とより良い学び（価値）を生み出そうとする。

めざす子ども像の五歩先を歩む教職員

■ 確かな学力の育成

- 特別支援教育の考え方を生かした個に応じた指導・支援を行います。
- 児童自らが進める学びづくりを進め、確かな学力の定着を図ります。
- 一人1台端末を効果的に活用し、ICT スキルの向上を図り、学びの質を向上させます。
- 互いの学びを大切にし、認め合い、高まり合える学習集団づくりを行います。
- 多様な他者と協働して学ぶ機会・場を意図的・計画的に設定し、学びの質を更に高めます。
- 「ふるさと学習」を充実させます。
- 「被爆80周年」を機に平和学習を強化します。
- 読書活動を推進します。

■ 豊かな心・健やかな体の育成

生徒指導サポート実践校

- 安心・安全な居場所づくりを進め、全ての児童の学びの場を確保します。《不登校への対応》
- 自己管理能力を育成します。
- 自己有用感を醸成します。
- いじめの未然防止に努めるとともに、積極的な認知、解消に向けた組織的対応を行います。
- 学年での活動をはじめ異学年での交流・活動を積極的に行います。
- 自らが学級・学年・学校をより良くしたいという気持ちを醸成し、主体的な活動を促します。
- 自主的・自治的な活動の場づくりを進めます。
- 計画的に体力づくりを推進します。

◎児童の多様性を尊重し、児童に寄り添った、ポジティブ行動支援を行います。

◎児童の自主性・主体性を促す教育活動を進めます。

目指す姿（目標）の共有／自己選択・自己決定／振り返り（自己調整）

◆「地域とともにある学校」づくり

- ◇CS（学校運営協議会）の運営体制を充実させます。
- ◇「廿笑応援団」（地域学校協働本部）との連携・協働を一層進めます。

◆自立・協働・挑戦を体現する教職員集団づくり

- ◇理念の共有し、指導力の向上を図ります。
- ◇教職員が働きがいを感じられる職場づくりを行い、働き方改革を進めます。